令和７年度　学生懸賞論文

|  |
| --- |
| 論　　題 |
|  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ゼミ名 | （例.　経営学ゼミナール） |  |
| 学年　氏名 |  |

# はじめに

このファイルは長崎大学経済学部の学生懸賞論文投稿規定に準拠した様式ファイルである。このファイルの書式設定を変更せずそのまま使用し、各項目に上書き入力することで、投稿規定に沿った論文を作成できる。

## このファイルの利用方法について

1. 表紙の「論題」「ゼミ名」「学年 氏名」欄に必要事項を入力する。

2. 本文の「はじめに」以降を削除し、各自の論文内容に置き換える。

3. 見出しには「見出し1」「見出し2」等のスタイルを使用する。

4. 本ファイル以外の様式での提出は認めないものとする。

5. 書式設定は変更しないこと。

# 書式設定(参考)

## 余白

余白は上35mm、下30mm、左30mm、右30mmで設定している (厳密には、左30mm＝とじしろ15mm＋左余白15mm)。

## 文字数と行数

表紙は、ページ設定で行数のみが行送りとして18ptで36行に設定している。本体は、ページ設定で1行あたり40字×30行に設定してある。

## ページ番号

表紙にはページ番号をふらず、論文本体の最下部中央にページ番号をふるようにしてある。

## フォント

本文は標準的に10.5ptのフォントを使用することが指定されている。本ファイルでは、Officeの (デザイン) テーマ機能にある「**Office**」テーマを使用し、章見出しや節見出しのフォントの変更を容易とするように、「**見出し 1**」や「**見出し 2**」のスタイルに12ptと11ptの見出し用のテーマフォント、「**標準**」スタイルには10.5ptの本文用のテーマフォントを使用する修正を施している。

# 参考文献の書き方

Christensen, C. M. (1997). *The innovator's dilemma: when new technologies cause great firms to fail*. Harvard Business Review Press. (邦訳：玉田俊平太,伊豆原弓 イノベーションのジレンマ―技術革新が巨大企業を滅ぼすとき 』翔泳社,2001年.）

Krugman, P. (1991). Increasing returns and economic geography. *Journal of political economy*, *99*(3), 483-499.

岡部晋典・逸村裕. (2016). 学生への倫理教育と研究ガバナンス. *情報の科学と技術*, *66*(3), 122-127.

酒井聡樹.(2002). 『これから論文を書く若者のために』第2版 共立出版.